

現代の子育て事情を考える - 多様な子どもの共育で -

「こどもまんなか社会」の実現に向けた政府の司令塔としてこども家庭庁が2023年に創設されました。街を歩けば地域子育て支援センターなどを多く見かけるようになり、子育てに優しい社会になったように感じます。一方で、現代の子育ては、「子育て罰」と国会で取り上げられるほど過酷なものであると指摘をされてもいます。このような現代社会の子育て事情を時代の変化と科学の進展から読み解いてゆきましょう。具体的には生殖補助医療や脳科学の進展、インターネットの浸透によるSNSコミュニケーション等の影響をお示します。

加えて、障害のある子どもの子育ては特別な葛藤を伴うことがあります。障害のある子どもの親は「なぜ、わが子が障害児でなければいけないのか」という根源的な問いをもち、障害の特性に応じた様々な工夫を求められることになります。また2013年にスタートした出生前診断が障害のある子どもや家族にさらなる苦悩を与えているという指摘があります。時代とのメモリ合わせをしながら、「子育ての社会化」を実現するために地域が、ひとりの市民として、何ができるかを一緒に考えてゆきましょう。

講師：一瀬 早百合氏（和光大学 現代人間学部 心理教育学科 教授）

日時：令和8年2月21日（土）午前10時～11時45分（9時30分受付開始）

場所：練馬区立文化交流ひろば 交流室1・2（こども発達支援センターの建物の3階）

参加費：無料

参加形式：集合形式 オンライン形式（Zoom使用）

申込み：1月11日（日）から2月13日（金）までにお申し込みください。

集合形式 定員100名（先着順）

下記のURLまたは、こども発達支援センターにお電話にてお申し込みください。

オンライン形式 定員なし

下記のURLからお申し込みください。

URL：<https://logoform.jp/form/G2rU/1364081>

QRコード



より徒歩10分

より徒歩2分

バスでの所要時間（参考）

練馬高野台 高松4丁目 10分程度

成増駅南口 高松4丁目 17分程度

【問い合わせ】

練馬区立こども発達支援センター

電話：3975-6251

住所：練馬区光が丘3-1-1

* 平日午前9時から午後5時までの間にお問い合わせ下さい。

* コロナやインフルエンザなど感染予防へのご協力をお願いいたします。

大江戸線光が丘駅 A1 出口

消防署

〒

階段

銀杏並木

銀杏並木通り

夏の雲小

光が丘
第三中

こども発達
支援センター

高松四丁目（バス停）
練馬高野台駅または成増駅より

サンド
ラッグ